

[特集] 脳卒中 かもしれない！

企画：板橋 亮

[Chapter 1]

脳卒中かもしれない患者が到着する前に

- | | | |
|------|---------------------|-----------|
| 1238 | 病院到着前の状況から何を得るか？ | 鈴木健太郎 |
| 1241 | 患者がくる前の院内体制はどうあるべき？ | 田中弘二・松本省二 |

[Chapter 2]

脳卒中かもしれないときの病歴聴取

- | | | |
|------|---------------------|-------|
| 1245 | 脳卒中かもしれない症例の病歴聴取のコツ | 矢澤由加子 |
|------|---------------------|-------|

[Chapter 3]

脳卒中かもしれないときの症候と診察

- | | | |
|------|---|------------|
| 1251 | 脳卒中かもしれない麻痺や感覚障害 | 田中瑛次郎・尾原知行 |
| 1255 | 脳卒中かもしれない失語，半側空間無視 | 稲富雄一郎 |
| 1261 | 脳卒中かもしれないめまい | 新保淳輔 |
| 1267 | 脳卒中かもしれない頭痛 | 竹川英宏 ほか |
| 1271 | 脳卒中じゃなさそうだが実は脳卒中の症状
(stroke chameleon) | 永沢 光 |
| 1277 | NIHSS スコアはどうやって評価するのか？ | 中島 誠 |

[Chapter 4]

脳卒中の画像はどうなっているのか

- | | | |
|------|--------------|-------------|
| 1284 | CT，CTA と灌流画像 | 尾原知行 |
| 1289 | MRI と MRA | 青木淳哉 |
| 1295 | 超音波検査 | 山口枝里子・斎藤こずえ |

[Chapter 5]

脳卒中かもしれないけれど……

1301	非神経感染症や代謝異常	野末 圭 ほか
1306	失神および心疾患	齋藤 新
1310	てんかん	加藤量広
1317	機能的神経障害 (functional neurological disorder)	下畑享良
1322	頸髄疾患	亀田知明・岡田俊一
1327	大動脈解離	徳田直輝・永金義成

[Chapter 6]

知っておこう！ 脳卒中の治療

1333	rt-PA 療法とはなんですか？	藤堂謙一
1338	血栓回収療法とはなんですか？	神谷雄己
1343	脳出血だったらどうすれば？	吉村壮平
1347	急性期抗血栓療法はどうすれば？	阪本宏樹・薬師寺祐介
1350	急性期リハビリテーションはいつからどうやって？	新見昌夫

[鼎 談]

1355	脳卒中を診療する内科医の過去と現在と未来 板橋 亮 [司会]・平野照之・山上 宏
------	---

[連載] ほんとに意味あるの？ その感染対策・感染症治療

第 5 回	手術室の服装，スクラブの効果	中村 造	1367
-------	----------------	------	------

イメージで捉える呼吸器疾患

第 18 回	ウイルス肺炎「家族の風邪がうつって，咳が止まりません」	皿谷 健	1371
--------	-----------------------------	------	------

Focus On

AI	が見出す心電図の新たな診断的意義	小寺 聡	1379
----	------------------	------	------

[投稿] 事例

未成年後見制度を利用することを選択した胃がん終末期の母親の事例	飯田智哉	1385
---------------------------------	------	------

[書評] みてわかる！ ニキビ診療 虎の巻

緩和ケア 即戦力ノート	藤本 学	1275
-------------	------	------

あなたにもできる，やさしい緩和ケア	柏木秀行	1305
-------------------	------	------

血液専門医テキスト(改訂第 4 版)	金倉 譲	1377
--------------------	------	------

新刊書案内	1365
次号特集予告	1393

寄稿規定	1389
バックナンバーのご案内	1390
バックナンバー購入申込書/購読のご案内	1392
編集手帳	1394
総目次	i

著者ならびに出版社は，本誌に記載されている内容について最新かつ正確であるよう最善の努力をしております。しかし，臨床検査，薬剤の情報，および治療法などは，医学の進歩や新しい知見により変わる場合があります。また，誌面の都合上，一部解説を省略させていただいている箇所もございます。実際の診療にあたっては，最新の添付文書などの情報を併せてご参照くださいますようお願いいたします。